

あ す ひら
未来を拓く

ANNUAL REPORT 2023



経営理念

まち この地域に根ざし、未来を拓く あす

信用金庫は、地域の人々が相互扶助の精神で設立した地域社会や地域の人々のための金融機関です。地域の発展に貢献し、豊かな生活づくりに奉仕することが私たちの使命です。

みらい宣言

しんきん 信用金庫だから、地域の人々の希望と信頼にお応えします。

しんきん 信用金庫だから、チャレンジする起業家を応援します。

しんきん 信用金庫だから、世界に学び、地域の明日を担います。

しんきん 信用金庫だから、誇り高きいきいきした職場をつくります。

しんきん 信用金庫だから、地域と共に生き続けます。

行動の指針

志は高く、行動は逞しく

感謝 私たちは、感謝とまごころをもって、謙虚にたくましく行動します。

奉仕 私たちは、明るく豊かな生活創造のパートナーになります。

挑戦 私たちは、仕事に誇りと目標を持ち、進んで経営に参画します。

人間 私たちは、よく遊びよく学び、心豊かな人間をめざします。



表紙：新本店ビル

新本店ビルについて

当金庫は創立100周年記念事業の一環として、2020年に本店新築に着手し、2023年3月28日にグランドオープンしました。新本店ビルは基本コンセプトを「地域、職員に永く親しまれる本店」として、安全性、快適性、柔軟性、地域貢献、低費用の6つをキーワードにしています。なお、大規模災害時には、近隣住民や帰宅困難者の受け入れが可能な機能を備えており、帰宅困難者等の一時滞在施設として別府市と「災害時における施設等の提供協力に関する協定」を締結しています。

また、駅前通りに面したスペースには「みらいギャラリー」を設置し、地域の芸術家の方々の作品等を展示しているほか、本部エントランスには地域の歴史資料等を展示するコーナーを設けており、地域の芸術文化や歴史の伝承に取り組んでいます。

INDEX

●ごあいさつ	1	●総代会について	16～17
●みらいしんきんと地域社会	2	●役員・組織図・営業店等所属長	18～19
●みらいしんきんのビジョンについて	3	●業界の総合力の発揮	20～21
●経営基盤の充実について	4～5	●地域づくり活動について	22～24
●創立100周年記念事業について	6～9	●店舗・ATMネットワーク	25～26
●地域密着型金融の推進について	10～13	●みらいしんきんの歴史	27
●働き方改革への取り組みについて	14～15		

ごあいさつ



平素より大分みらい信用金庫に格別のご愛顧を賜り、厚くお礼を申し上げます。当金庫は1922年4月に創業し、今年で創立101周年を迎えました。これもひとえに地域の皆さま方の温かいご支援、ご愛顧の賜物と深く感謝申し上げます。

さて、2022年度の国内経済は、新型コロナウイルスの影響による行動制限が緩和され、社会経済活動の正常化が進む中で、景気は緩やかに持ち直しました。

一方、長引くウクライナ情勢や円安の影響により原油や原材料の価格は高止まりし、企業収益の圧迫要因となりました。とりわけ中小企業においては、利幅の縮小や慢性的な人材不足、賃金引上げへの対応等の課題が顕在化しており、経営効率の改善や生産性向上のための新たな取り組み等が必要になっています。

こうした中、県内においても主要産業である観光関連業種や飲食サービス業等を中心として厳しい経営環境となりましたが、年後半に政府による旅行支援策が再開され、訪日外国人客の水際対策が緩和されたことにより、県内を訪れる観光客数は徐々に回復基調となり、景気は持ち直しの動きとなりました。

このような環境下、当金庫は2021年度から中期計画「第1次『シンカへの挑戦』3カ年計画」をスタートさせ、コロナ禍からの復興支援を第一義として活動しています。

2年目となる2022年度は、引き続き事業先の資金繰り支援や本業支援、地域観光支援等に取り組んだほか、業務のデジタル化の推進や「みらいハートプラザ」を拠点とした相談業務等に注力して活動しました。また、創立100周年記念事業の一環である本店ビルの建て替え工事が完了し、3月28日に新本店ビルがグランドオープンしました。そのほか、信金中央金庫と別府市との協働による「しんきんイノベーションプロジェクトin別府」の推進、大分県および営業地区6市1町への児童図書購入資金の寄贈等を行いました。

このような活動の結果、預金・貸出金残高はともに増加し、4億8千9百万円の当期純利益を計上しました。また、自己資本比率は国内基準の3倍以上の13.29%となり、引き続き安心してお取引いただける水準を確保しています。

今後も健全経営に徹し、地域社会の発展に一層貢献できるよう努めてまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2023年7月
理事長 森田展弘

みらいしんきんと地域社会

地域貢献ディスカロージャー

信用金庫は相互扶助、非営利の協同組織金融機関であり、「中小企業の健全な発展」「豊かな国民生活の実現」「地域社会繁栄への奉仕」をビジョンとしています。

当金庫は、地域・お客さま・金庫役職員同士の絆を深め、広げていくことにより、共に成長への基盤を築き、地域の経済、暮らし、文化の発展に貢献してまいります。

お客さま・会員の皆さま

預金・積金について

預金・積金残高のほとんどは、地域にお住まいの個人の方々や、法人のお取引先からお預かりした資金です。

預金・積金残高 434,655百万円

詳細:4ページ、資料編8ページ、35ページ

出資金について

信用金庫は「会員制度」を基本とした地域金融機関です。会員の皆さまからの出資金は、この地域の発展のお役に立つように運用しています。

会員数 42,853人

出資金残高 1,513百万円

詳細:5ページ

ご融資について

お客さま・会員の皆さまのさまざまな資金ニーズにお応えし、円滑な資金供給を行うことで、地域社会の繁栄に貢献しています。

貸出金残高 210,531百万円

詳細:4ページ、資料編8ページ、35ページ

まちづくり活動

金融業務を通じた経済的貢献だけでなく、地域に根ざした金融機関として「文化的・社会的責任」を果たすことが、信用金庫の大切な使命です。

詳細:22~24ページ

さまざまなネットワーク

みらいしんきん同友会等のさまざまなネットワークづくりに取り組んでいます。

詳細:13ページ

みらいしんきん

決算の状況

2022年度は、当期純利益489百万円となり、安定した業績を確保することができました。

詳細:4ページ、資料編3~6ページ

不良債権の状況

信用金庫法および金融再生法上の不良債権比率は6.25%となり、そのうち89.43%は担保・保証等および貸倒引当金により保全されています。

詳細:5ページ

自己資本の状況

健全性の指標である自己資本比率は、13.29%となりました。自己資本比率は国内基準4%の3倍以上の水準にあり、引き続き高い健全性を確保しています。

詳細:5ページ、資料編18ページ

ご融資以外の運用 (有価証券等)

お客さまからお預かりしたご預金や出資金は、ご融資による運用の他に、国債や社債、投資信託などの有価証券への投資等による運用を行っています。

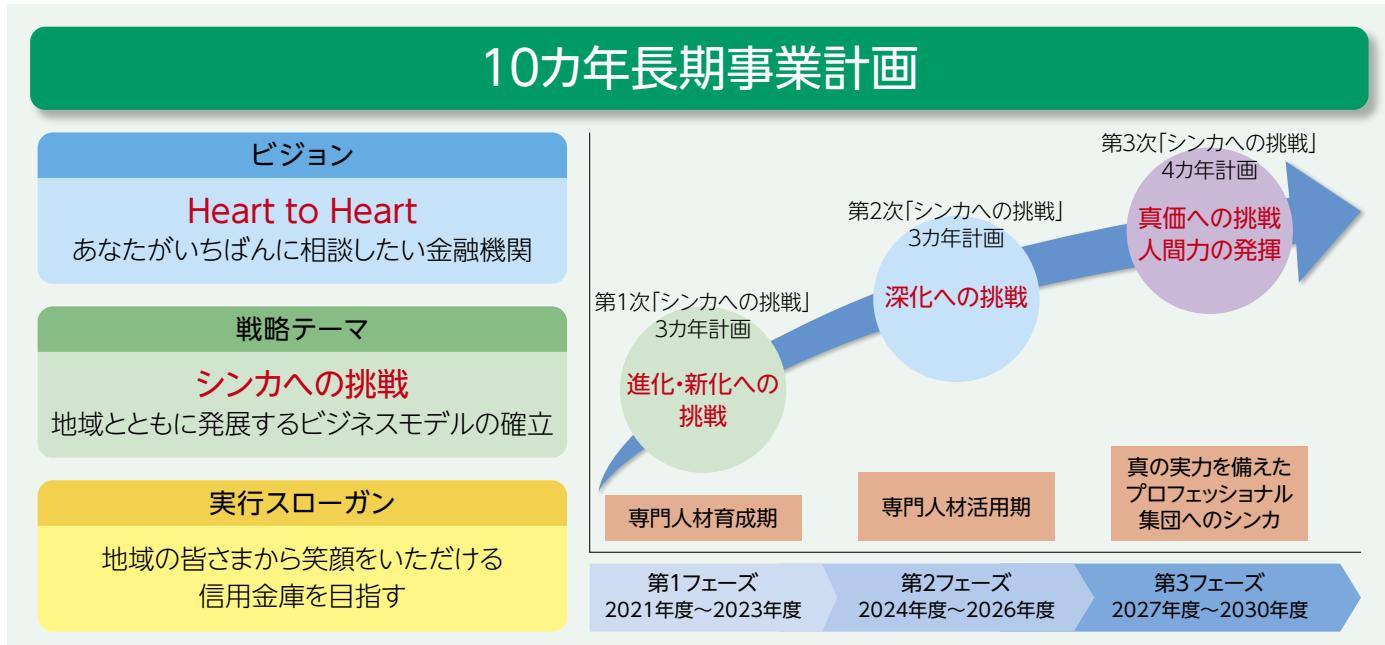
有価証券残高 144,961百万円

詳細:資料編9ページ

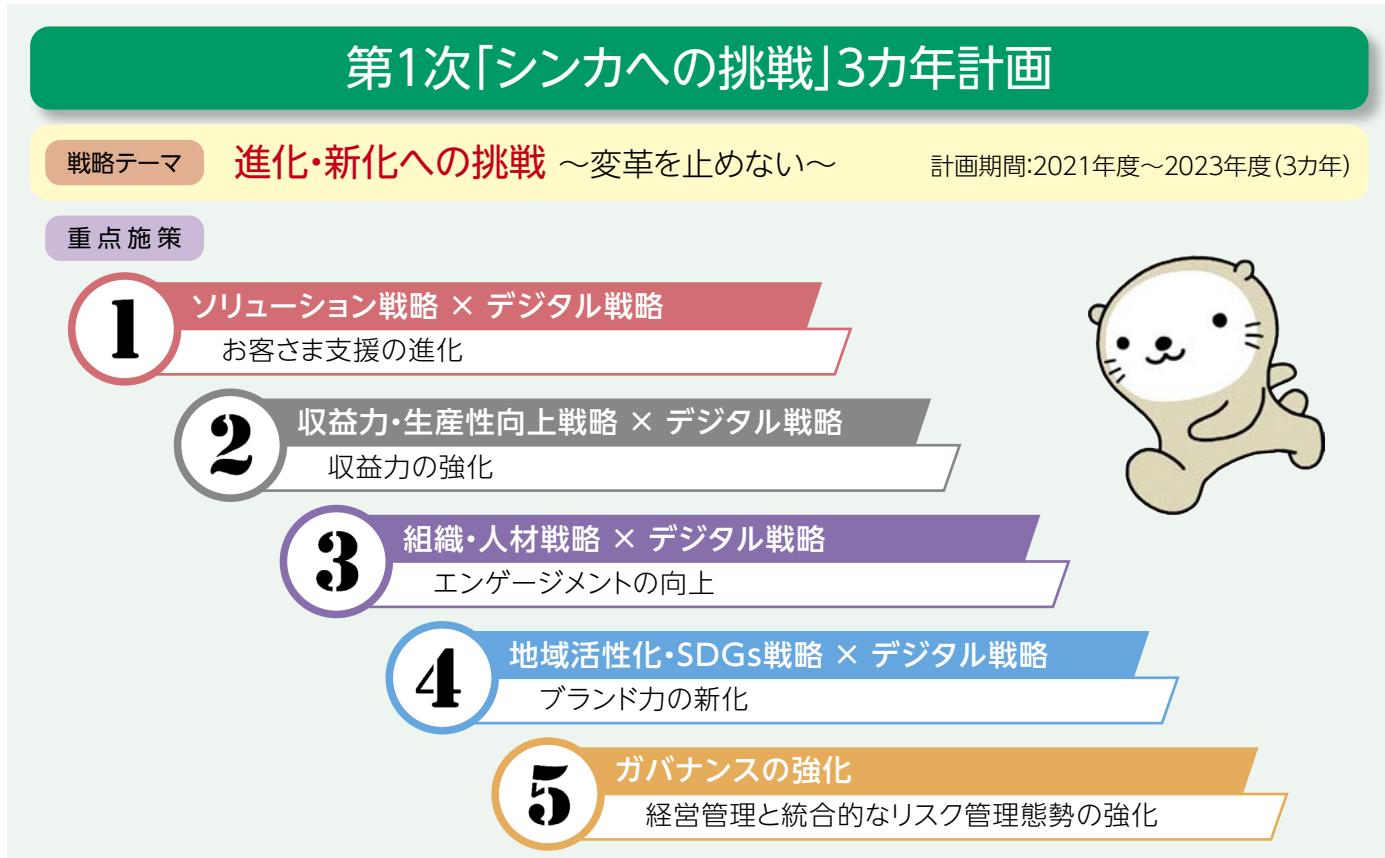
みらいしんきんのビジョンについて

当金庫では、「10カ年長期事業計画」を策定しており、その第1フェーズとして、2021年度から中期事業計画「第1次『シンカへの挑戦』3カ年計画」を推進しています。この中期事業計画では、DX（デジタルトランスフォーメーション）への対応スピードを加速させ、生産性の向上とお客さまとの接点の拡充を図るとともに、顧客利便性・顧客満足度の「進化」と、新たなみらいしんきんへの「新化」を目指しております。

基本方針



基本戦略と重点施策

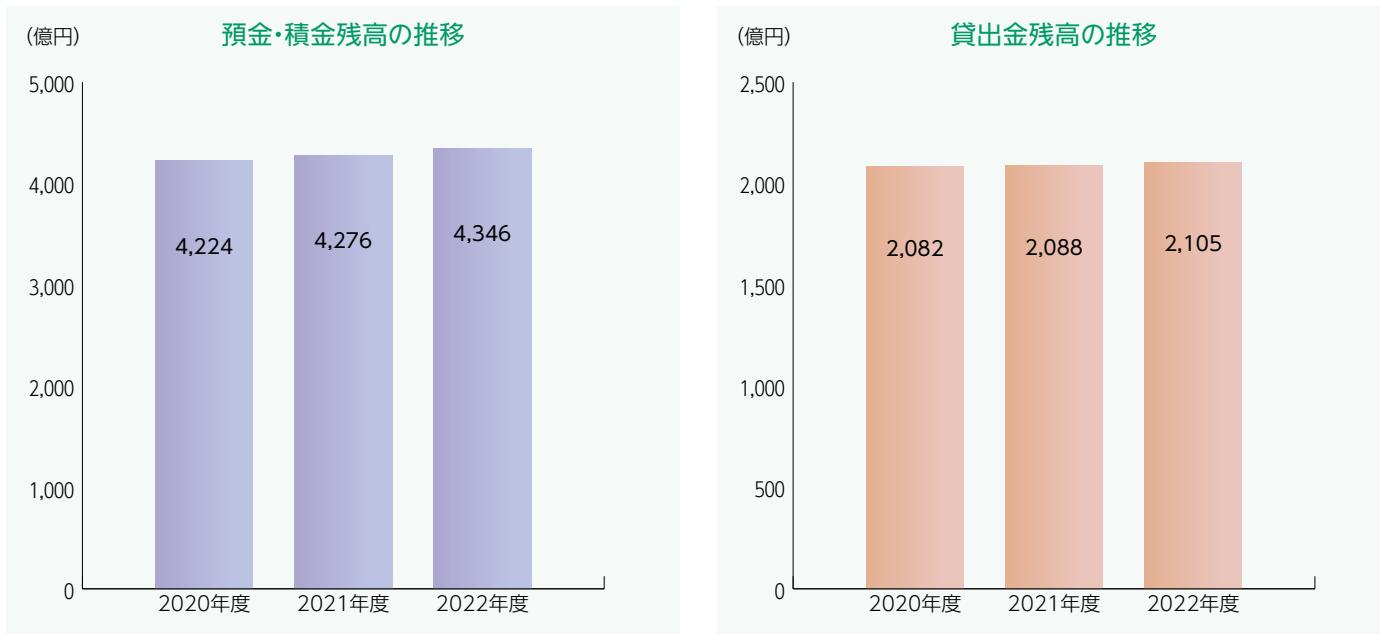


経営基盤の充実について

預金・積金、貸出金の状況

2023年3月末の預金・積金残高は4,346億5千5百万円となり、前期末比70億2千3百万円増加、増加率は1.64%でした。科目別では要求性預金が増加し、定期性預金が減少しました。また、人格別では個人、法人が増加し、地方公共団体が減少しました。

2023年3月末の貸出金残高は2,105億3千1百万円となり、前期末比16億8千9百万円増加、増加率は0.80%でした。科目別では証書貸付、当座貸越が増加し、割引手形、手形貸付が減少しました。また、属性別では個人、事業先、地方公共団体ともに増加しました。



損益の状況

2022年度の業務純益は5億8千8百万円となり、前年度比5億2千1百万円減少しました。これは、貸出金利息収入と有価証券利息配当金の減少、物件費の増加などが主な要因です。

経常利益は5億2千6百万円となり、前年度比3億5百万円減少しました。

当期純利益は4億8千9百万円となり、前年度比1億3千9百万円減少しました。



用語説明

●業務純益

金融機関の基本的業務で得た収益から費用を差し引いた利益です。

●経常利益

基本的業務とその他の業務で得た収益から費用を差し引いた利益です。

●当期純利益

経常利益に特別利益・特別損失を加減し、法人税等を控除した最終利益です。

自己資本の状況

自己資本額は、262億9千8百万円となり、自己資本比率は13.29%となりました。なお、引き続き自己資本比率は国内基準4%の3倍以上の水準にあり、安定した健全性を確保しています。



会員数と出資金額の状況

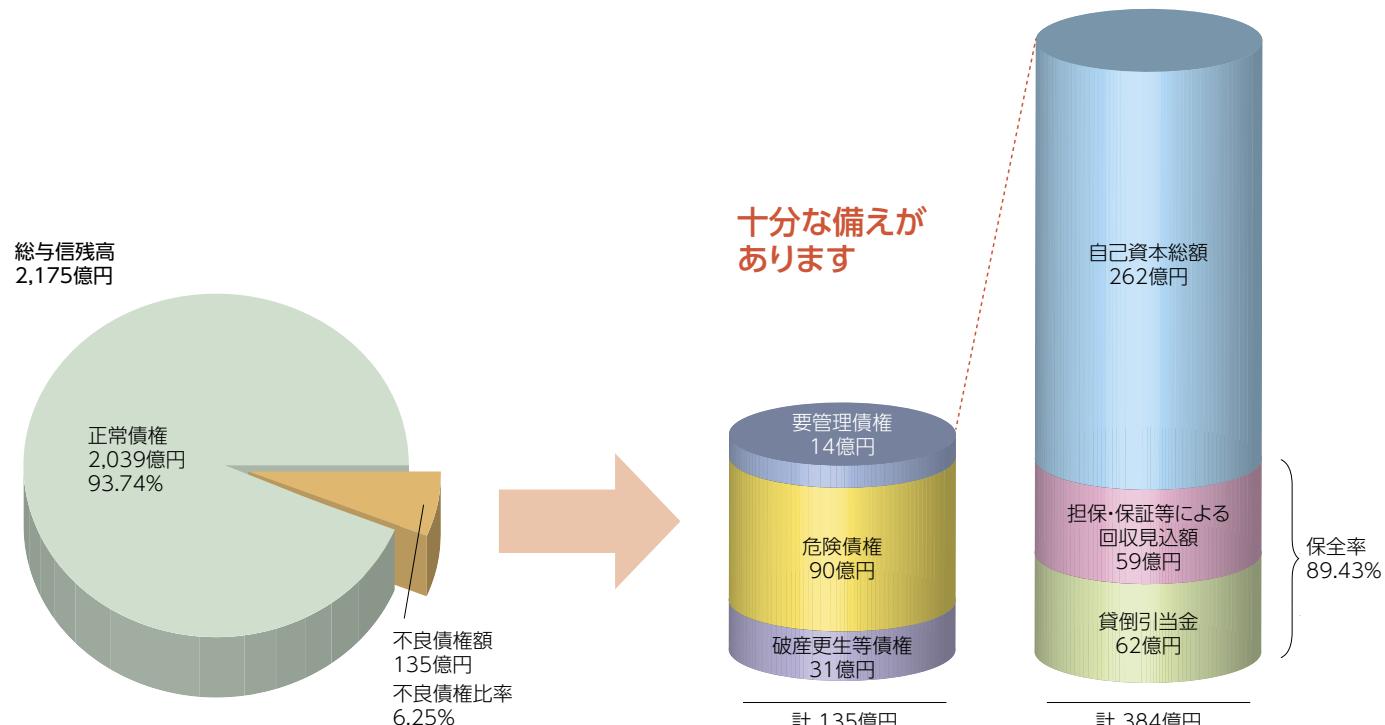
2023年3月末の出資金額は15億1千3百万円で前期末比9百万円増加しました。また、会員数は42,853人となり、前期末比91人増加しました。



信用金庫法・金融再生法上の不良債権とその保全および自己資本の状況

2023年3月末の不良債権の合計金額は135億9千9百万円となり、前期末比11億9百万円減少しました。また、不良債権比率は6.25%となり、前期末比0.56ポイント低下しました。

なお、不良債権への対応として、担保・保証等や貸倒引当金によって保全を図っており、その89.43%をカバーしています。また、自己資本総額は262億9千8百万円であり、リスクに対して十分な備えを行っています。



創立100周年記念事業について

新本店ビルグランドオープン

創立100周年記念事業の一環として本店新築に着手し、2023年3月28日にグランドオープンしました。



セレモニーに出席いただいた方々と晴れやかにテープカット



グランドオープンのセレモニー会場



「みらいのタマゴ」に竹ひごを挿す出席者



当日の来店者へ記念品をお渡しました



別府翔青高校書道部の書道パフォーマンス



パフォーマンスに拍手を送るお客さま



別府市立図書館とのコラボ事業「大別府展」

▶ ドローン動画配信中!

新本店ビルの動画をYouTubeにアップロードしていますので、QRコードからアクセスのうえ、ぜひご覧ください。



笑顔を咲かせるプラットフォームを目指して

新本店ビルは「地域、職員に永く親しまれる本店」を基本コンセプトに、6つのキーワードに基づいた設計が施されています。

- 安 全 性** 耐震構造、津波対策、職員や近隣住民の緊急避難場所
- 快 適 性** 職員の働きやすさ、女性や高齢者、障がい者への配慮
- 柔 軟 性** 生産性、業務効率に配慮した低ストレス設計
- 地 域 貢 献** ギャラリー、ロビー展のスペース確保
- しんきんかん** 明るいブランドイメージ
- 低 費 用** 維持コスト、メンテナンスコストの削減



ATMコーナー、受付カウンター、間仕切りスクリーン等に別府特産の竹をあしらった本店営業部



災害時における施設等の提供協力に関する協定を別府市と締結



大規模災害時の一時避難場所として、近隣住民や帰宅困難者の受け入れが可能な機能を備えました。備蓄倉庫には飲料水、食料、毛布等を保管管理しており、シャワールームを2室設置しています。



研修や講演会などに利用できる「みらいホール」



相続や年金など各種相談を承る「みらいハートプラザ別府」



別府湾が一望できる最上階6階の展望デッキ



明るい光が差し込む食堂は展望デッキと通じる

オブジェ「みらいのタマゴ」



みらいホール前に設置されている「みらいのタマゴ」は職員OB会より寄贈されました。鳥の巣に産み落とされたタマゴをイメージして、7色に染め分けた竹ひごで作られています。

みらいしんきん本店の歴史



創業まもなく別府市千代町で営業開始



別府駅前通りの旧本店



移転当時の旧本店



2022年12月15日に行われた竣工式の記念写真

創業まもない頃の当金庫本店は、現在の南支店(別府市千代町)の位置にありました。別府駅前通りに移転したのは1964年、東京オリンピック開催の年でした。建設から57年の歳月が経過して老朽化が進んでいたため、今回の新築に至りました。



みらいにトライ ～笑顔でつむぐ百年金庫～

しんきんイノベーションプロジェクト in 別府



当日のリポートは
以下で公開され
ています



信金中央金庫との共催により「しんきんイノベーションプロジェクトin別府」を実施しました。本プロジェクトは、地域企業の経営資源と全国のスタートアップ企業が持つ、独自技術や独創的なアイデアを活用して、地域課題の解決に向けて、新たな価値・ビジネスを共創する事業です。「別府竹細工のリブランディング事業」と、「観光タクシーを活用した感情の見える化による観光活性化事業」の2つを実施し、2022年9月に別府市公会堂にて発表会を行いました。



別府竹細工のリブランディング事業
別府市竹細工伝統産業会館(別府市)と株式会社CLIPs(東京都)のマッチング。YouTubeライブ配信やインスタグラムアイデアコンテストを実施し、竹細工の魅力発信や認知度向上に貢献しました。



新たなタクシー観光モデルの創出

株式会社IDM(別府市)とOlive株式会社(愛知県)のマッチング。観光タクシーを利用する乗客の感情を「見える化」する技術を活用し、観光活性化事業に着手。実証実験を踏まえ、2023年度中に、自治体へ提言する予定です。

ふるさと応援団



2022年度より、企業版ふるさと納税を活用し、信金中央金庫より別府市へ寄付いただき、学生の創業を促進するプロジェクトを企画・運営しています。さまざまなコンテンツを用意し、創業セミナー・勉強会に加え、夢を語り合う学生同士の合同キャンプ等を実施しました。2022年8月と2023年1月に行われたビジネスアイデア発表会では16件のエントリーがあり、うち6件を採択し、テストマーケティングを実施しました。

児童図書購入資金の寄付



大分県ならびに当金庫営業地区である6市1町(別府市・大分市・中津市・宇佐市・豊後高田市・由布市・日出町)に、児童図書購入資金の寄付を実施しました。地域の未来を担う子どもたちの成長を支援し、魅力あふれる地域づくりへ貢献することを目的としています。

100周年記念CM



創立100周年の基本コンセプトである「感謝」「共感」「挑戦」をテーマにした記念TV-CMを放映しました。100周年記念ポスターと連動させながら、当金庫のキャラクターである「みらっこ」と若手職員が共演。次の100年に向けて、明るく元気な企業イメージを発信しました。

記念商品について



創立100周年記念定期預金「みらっこラボ100大作戦」に続き、100周年記念旅行定期積金「リバイバル道東の旅」、新本店ビルのグランドオープンを記念した「花咲くみらい定期預金」の取り扱いを順次開始しました。

「プラスの祭典2022」特別協賛



2022年12月8日、iichikoグランシアタで開催された「プラスの祭典2022」に特別協賛しました。世界的に活躍するマエストロ・佐渡裕氏と、国内最高峰のプロ吹奏楽団であるシエナ・ウインド・オーケストラの迫力ある演奏会に大勢のお客さまが来場されました。

子ども食堂への寄付



大分県社会福祉協議会「愛のたすけあい」善意銀行を通じて、当金庫営業地区6市1町に所在する子ども食堂へ寄付金を贈呈しました。

「わくわくドリーム将棋大会」開催



2022年7月18日、小中高生を対象にした「みらいしんきん杯わくわくドリーム将棋大会2022」(主管 大分県将棋連合会)を大分市のJ:COMホールトホール大分で開催しました。大会当日は豊川孝弘七段審判長のもと、111名もの参加者による熱戦が繰り広げられました。

みらいしんきんフードドライブ・絵本ドライブを実施



お客様や職員の自宅に眠っている食品や絵本を募り、営業地区内の子ども食堂へ寄贈する「フードドライブ」「絵本ドライブ」を実施しました。食品は段ボール27箱分、絵本は386冊も集まり、大分県社会福祉協議会が運営する「フードバンク大分」を通じてお届けしました。

地域密着型金融の推進について

当金庫は、地域密着型金融の担い手として、地方創生、地域経済の活性化、中小企業金融の円滑化に向けた取り組みを積極的に推進しています。

1.お取引先企業に対するコンサルティング機能の発揮

●経営支援体制(2022年度)

当金庫は、融資部と地域創生企画部と営業店が連携し、お取引先の売上向上、創業、事業承継、業務効率化など、さまざまな経営課題の解決をサポートしています。



●経営改善支援への取組状況と実績

お取引先企業(個人事業主を含む)の中から39先を対象に経営改善支援に取り組みました。

※詳細については、資料編28ページの「経営改善支援等の取組実績」をご参照ください。

具体的な取組状況は、以下のとおりです。

- 経営会議への参加…………… 27先(延べ153回)
(以下については、経営改善支援先39先以外のお取引先を含みます)
- 経営改善計画策定支援…………… 33先
- 外部支援機関との連携した専門家派遣事業 …………… 272先(延べ590回)

●外部機関との連携

お取引先が抱える経営課題の解決に向け、外部の専門家をお取引先へ派遣しております。専門家の派遣には、担当者が同席させていただき、現場での支援に協力するほか、専門家のノウハウを参考にすることで、支援機関としての能力向上に努めています。

●資金供給機能の発揮

お取引先の個人、中小企業・小規模事業者の皆さまの定量的な情報のみならず、定性的な情報の収集に努め、過度に不動産担保や個人保証に依存しない小口融資を推進し、地域の皆さまの資金需要にお応えしています。



〈経営課題解決支援 取組事例〉

中小企業・小規模事業者の経営支援に関する取組方針

当金庫は資金供給者としての役割にとどまらず、長期的な取引関係を通じて蓄積された情報や地域の外部専門家、外部機関等とのネットワークを利用してコンサルティング機能を発揮することにより、お取引先の経営支援や事業再生、事業拡大について最大限支援していく方針です。

経営改善、事業再生、業種転換などの支援に関する取り組み

●経営改善計画にもとづく経営支援

菓子類の製造卸業を営んでいるA社はコロナ禍の影響で売上が減少したことにより経営改善計画書を作成しました。当金庫は毎月A社とともにその進捗を確認し、資金繰り支援についても対応しました。その後、コロナ禍による行動制限の緩和により売上は徐々に増加し、現在では新規取引先の獲得や新商品の開発等が活発となり、コロナ禍前より売上は増加しました。また、海外進出も検討しておりHACCPに対しても対応済みです。今後は事業承継についても検討していく予定です。

●そうだ!みらいに相談しよう!

当金庫では、お取引先の課題解決シートとして、「そうだ!みらいに相談しよう!」を活用しております。人材不足や販路拡大などのさまざまな課題に対して、多数のメニューを取り揃えておりますので、お気軽にご相談ください。

2022年度は、632件のご相談にお応えしました。

●みらいビジネスマッチングサービス

当金庫では、県内お取引先のみならず、全国の信用金庫とのつながりを活かしたビジネスマッチングサービスを提供しております。

2022年度は、183件の商談、147件の成約につながりました。また、国内外の幅広い要望にお応えすべく、海外の販路支援も実施しました。

●未来へ繋ぐ、みらいで繋ぐ

少子高齢化、人口減少、市場の変化に伴い、多くのお取引先企業が後継者問題を抱えています。当金庫では、そのようなお取引先企業の事業承継に関する個別課題および地域への影響力を把握し、問題解決への支援に努めています。

2022年度の事業承継相談件数は96件で、その内13件の承継が完了しました。

●そうだ!みらいと創業しよう!

当金庫では、「チャレンジする起業家を応援します」という方針のもと、創業を目指す方々へご支援を行っております。事業計画の策定、資金調達、販路拡大など、創業前後のさまざまな不安を解決するメニューを取り揃えております。

2022年度は、155件のご相談にお応えしました。



●大分県の事業を活用したブランディング戦略立案

オーダーメイドアクセサリーの製作・体験工房運営を行っている株式会社マリーヤンさまは、自社ブランドのリブランディングを検討し、大分県の「ケーススタディ型伴走支援育成事業」を活用したブランディングプロジェクトに取り組みました。プログラムの中では、INPIT大分県知財総合支援窓口を活用したブランディング戦略立案や有限責任監査法人トーマツのサポートによるマーケティング戦略立案などを実施しました。新コンセプト・新商品も完成し、全社員納得のリブランディングを実現しました。



▲自社新ブランドmasamuneの店舗の様子

●みらいビジネスマッチングサービスを活用した商談

外国人観光客の忘れ物を届けるサービスを展開しているLost Item Delivery株式会社さまは、県内外の新しい取引先開拓を検討していました。そこで、当金庫の取引先同士をつなぐ「みらいビジネスマッチングサービス」を活用し、16社の施設との契約に成功しました。さらに、全国254の信用金庫の取引先同士をネットでつなぐWebサービス「しんきんコネクト」も活用し、県外企業との商談も実現しています。

なお、同社は、別府市で毎年開催されているビジネスプラン発表会「ONE BEPPU DREAM AWARD」のファイナリストであり、当金庫がサポーターとして支援しています。



▲別府の観光名所などがデザインされたダンボールでお届け

●合同商談会参加による売上増強

自社オリジナル商品「必然のニラ醤油」などの全国展開を検討している株式会社LogStyleさまは、2022年12月6日・7日、東京ビッグサイトで開催された「2022“よい仕事おこし”フェア」に参加しました。当日は、多くのバイヤーと面談。その後、約100社と商談を実施し、3件の成約につながりました。この商談会参加をきっかけに、全国版のTVメディアへの露出も増え、全国展開への大きな足掛かりとなりました。同社は「みらいお宝発掘プロジェクト」にも参加しており、新たな商品開発と販路開拓のサポートを継続支援しています。

当金庫では、個社別のビジネスマッチングだけでなく、県内外のさまざまな商談会参加をサポートしております。



▲2022“よい仕事おこし”フェア展示ブースの様子

●補助金を活用した新たな分野への挑戦

金属溶射施工、各種金型および治工具の設計・製作を行っているJPRESS株式会社さまは、自社の強みである高い溶射技術を活かし、重工業分野や航空・宇宙分野など新分野への進出を検討し、事業再構築補助金に挑戦しました。大分県よろず支援拠点などの専門家のアドバイスも得ながら、見事採択され、労働生産性向上やイノベーションに取り組んでいます。

上記を含め、2022年度は31件の補助金が採択されました。



▲事業再構築補助金で導入した新しい設備

2.地域の面的再生への積極的な参画

●みらいしんきん同友会

みらいしんきん同友会は、1976年11月に発足したお取引先の経営者の皆さまと当金庫を結ぶネットワーク組織です。

現在24支部、約1,600名が、各種講演会や勉強会、社員研修や若手経営者のマネジメントスクール等の自己啓発や親睦活動を展開しています。

同友会機関誌「DO YOU!▶」



▲同友会運営委員会

●未来経営者スクール

「未来経営者スクール」は、参加者が互いに経営者として研鑽を積み、異業種交流を行うことで自企業の発展に資することを目的としています。

1998年度よりスタートした本スクールは、これまで22期生が卒業し、延べ529名の皆さまにご参加いただきました。卒業生同士のネットワークもでき、次期経営者として職場でのマネジメント等に活用しているという声もいただいています。



▲未来経営者スクール

●みらいビジネススクール

みらいしんきん同友会活動の一環として開催している「みらいビジネススクール」は、会員企業の人材育成や新入社員教育のお手伝いを行っています。

これまでに「管理者研修」「新入社員研修」等各種研修会を開催し、延べ951社3,444名の皆さまに受講していただきました。

今後も地域の中小企業の皆さまのお役に立てるような研修を行っていきます。



▲みらいビジネススクール

※上記写真は2019年の様子です。

3.地域やお客さまに対する積極的な情報発信

●地域活性化に繋がる情報の発信

地域やお取引先の景況動向等の把握を目的とした「中小企業景気動向調査」や時事的な話題を調査する各種特別調査を行っております。調査結果を冊子や当金庫ホームページに掲載し、企業経営の新たな課題や解決のヒントを得る機会を提供しています。



●就活生向けにYouTubeで動画配信

みらいしんきんの雰囲気を少しでも多くの就活生へ届けたいという思いから、YouTubeでの動画配信を行っています。入庫1~2年目の職員と採用担当者が、業務内容や研修体系、さらには自身の就職活動での経験などを本音で語り、学生からも大変好評でした。

そのほかにも、webを用いてインターンシップや職員と話ができる座談会も開催し、みらいしんきんへの理解を深めていただきました。



▲YouTube動画

働き方改革への取り組みについて

働きがい・働きやすい環境づくり

みらいしんきんは、職員そしてその家族の皆さんのが幸せであり続けることを目標に、一人ひとりが充実した人生を送れるよう、地域で一番働きがいのある職場、働きやすい環境づくりに取り組んでいます。

働き方改革の推進	時間外勤務の削減	ノー残業デー(毎週水曜日)を実施しています。パソコンの利用時間の制限などを行っています。
	有給休暇取得率の向上	長期連続休暇やリフレッシュ休暇制度の完全取得を実施しています。エネルギー・チャージ半日午後休暇を導入しています。
多様な働き方の推進	男性の育児休業取得推進	育児休業中の5営業日を有給化し、男性も取得しやすい環境づくりに取り組んでいます。
	育児短時間勤務制度	小学校3年生修了時まで利用することができます。
	コース転換制度	総合職、一般職のコースを転換できる制度です。
職場のコミュニケーション向上	正職員転換制度	パート職員から正職員へ転換できる制度です。
	職員再雇用制度	結婚や出産、介護等で退職した職員を、一定条件のもと正職員で再雇用する制度です。
	各種部活動	スポーツ系、文化系の14部が活動中です。 (フットボール部、野球部、テニス部、バスケットボール部、卓球部、ミニバレーボール部、剣道部、マラソン・ウォーキング部、バドミントン部、軽音楽部、みらいHULA部、みらい美活研究部、撮っくりクラブ、アウトドア部)
	サンクスカードの導入	職員同士で「ありがとう」「いいね」を伝え合うことで、お互いに認め合う風土の醸成に取り組んでいます。

認定・受賞歴

くるみん認定(2019年5月取得)

「おおいた働き方改革」推進優良企業表彰(2020年度)

おおいた女性活躍推進事業者表彰(2019年度)



▲野球部



▲みらいHULA部

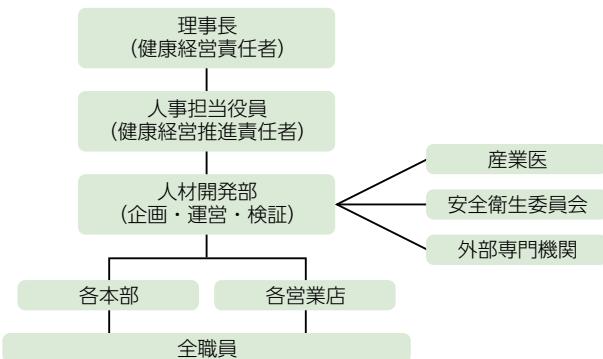
●健康経営宣言

大分みらい信用金庫は、「地域の皆さんから笑顔をいただける信用金庫」を目指しています。それを実現するためには、役職員一人ひとりが心身ともに健康であることが何よりも大切だと考えます。

大分みらい信用金庫では健康経営の取組みを通して、役職員の健康づくりを推進し、これからも地域の“みらい”に貢献し続けることを宣言いたします。

2022年8月2日
大分みらい信用金庫
理事長 森田 展弘

【健康経営推進体制】



人材育成

みらいしんきんでは、「Heart to Heart～あなたがいちばんに相談したい金融機関～」をビジョンに掲げ、お客さまから真っ先にご相談いただける「真の相談相手」を目指しています。そのために、お客さまへの支援能力の向上および専門人材の育成を図っています。

研修・派遣	新入職員研修	1年間にわたり、入庫時研修やフォロー研修、補習などを開催してサポートしています。
	BS制度	新入職員に対して先輩職員が行う教育研修(マン・ツー・マン教育)です。
	各種研修制度	階層別研修や業務研修などを開催しています。
	外部研修への派遣	公募により、一般社団法人全国信用金庫協会などが主催する外部研修へ派遣しています。
	トレーニー制度	専門的な知識習得などのために、本部各部署でのOJTを通じた研修制度です。
	外部機関への出向	公募により、信金中央金庫などの外部機関への出向・派遣を行っています。
自己啓発支援	通信講座	業務に必要な知識を得るための講座や、専門知識等を高める講座があります。
	みらい大学	休日を活用して、自主的に行う自己啓発講座です。
	公的資格等取得奨励制度	FPなど公的資格を取得した場合には奨励金を支給しています。
	e-ラーニング	実務に直結するものから知識習得に役立つものまで、さまざまなコンテンツがあります。



▲新入職員研修



▲別府街巡りツアーの様子

資格保有者数(のべ人数)

・FP1級	9名	・中小企業診断士	6名	・産業カウンセラー	2名
・FP2級	134名	・宅地建物取引士	17名	・キャリアコンサルタント	1名
・M&Aシニアエキスパート	9名	・社会保険労務士	1名	・2級キャリア・コンサルティング技能士	1名
・事業承継・M&Aエキスパート	38名	・事業再生士補	1名		
・事業承継シニアエキスパート	2名				

(2023年3月31日現在)

総代会について

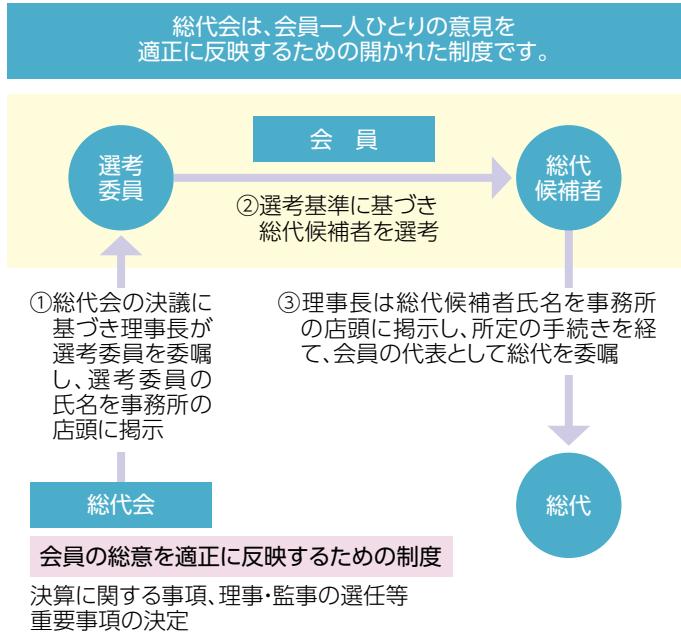
総代会制度の仕組み

信用金庫は会員同士の相互扶助の精神に支えられた協同組織の金融機関です。銀行などの株式会社は、本来、株主が資本を投下して利益を得るためにつくられた営利機関であるため、株主になるのは配当などの利益を得ることが目的です。これに対し、協同組織の信用金庫は会員の便益を目的としており、必要最低限な適正利益は確保しなければなりませんが、基本的には営利を目的としない金融機関です。

その運営は最高決議機関である「会員の総会または総代会」の意思決定に基づいて行われ、議決権は1人1票制をとっているため、会員の地位の平等性が尊重されています。

当金庫は4万人を超える多数の会員に支えられているため、総会にかえて、会員の中から選ばれた総代の皆さまで構成される総代会を最高意思決定機関としています。また、総代以外の会員の皆さまのご意見も、役職員によるヒアリングなどを通じて経営に反映しています。

なお、総代会では、決算による剰余金処分案の決定、定款に関する事項、理事・監事の選任等の重要事項を決議しています。



総代の選考方法

●総代定数と任期

定款により、総代の定数は130人以上170人以内、任期は3年となっており、その就任時点で満80歳を超えない会員としています。また、地区を8区の選任区域に分け、会員数に応じて選任区域ごとに定めています。

●総代の選考は次によります。

- ① 総代会の議決により選任区域ごとに会員のうちから委嘱された選考委員が、その選任区域の総代定数に相当する総代候補者を選考し、その氏名を理事長に報告します。
- ② 理事長は、総代候補者の氏名をその選任区域の会員に通知し、その通知した日から2週間以内に異議の申し出がなかった場合や異議の申し出をした会員が当該選任区域の会員数の3分の1に達しない場合は、会員からの信任を得たものとし、その総代候補者を総代に委嘱します。

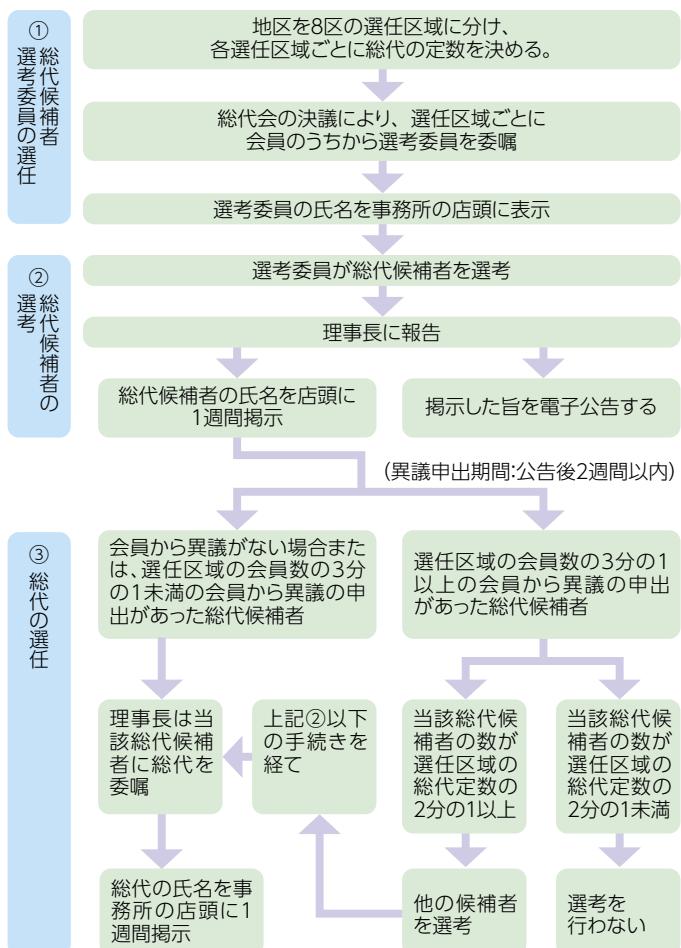
総代候補者の選考基準

- ① 資格要件は当金庫の会員であること。
- ② 適格要件は次のとおりです。

地域において信望が厚く、行動力があり、
総代として相応しい方

総代として相応しい人格・識見に秀れ
当金庫の発展に寄与できる方

金庫の理念・使命をよく理解し、
金庫との緊密な取引関係を有する方



第102期通常総代会決議事項

令和5年6月27日、杉乃井ホテル「ボールルーム アンバー」(別府市観海寺1)において、第102期通常総代会を開催し、次のとおり報告並びに決議されました。

報告事項 第102期業務報告、貸借対照表および損益計算書の内容報告の件

決議事項 第1号議案 剰余金処分案承認の件

第2号議案 信用金庫法第17条第3項に係る法定脱退の件

第3号議案 所在不明会員除名の件

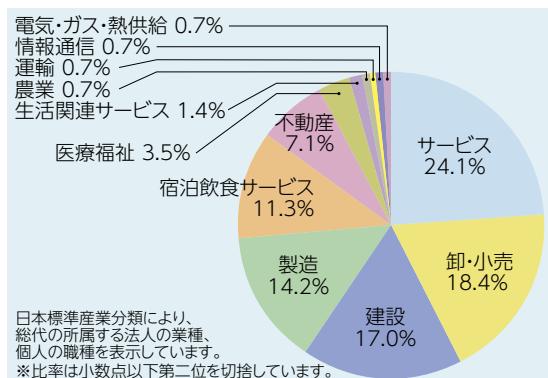
以上、いずれも原案どおり可決されました。



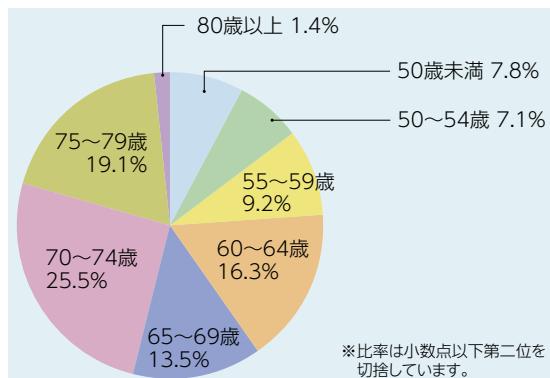
▲総代会の様子(令和5年6月27日)

総代の属性別構成比

●業種別構成比



●年齢別構成比



2023年5月末現在

●職業別構成比

法人役員	92.9%
個人事業者	7.1%
個人	0.0%

総代のご紹介

総代(任期 2022年4月15日から2025年4月14日まで) ※敬称は略させていただきます。

店舗	氏名	店舗	氏名	店舗	氏名	店舗	氏名	店舗	氏名
南	川島 賢一 ③	石垣	木村 裕次 ⑥	湯布院	赤司 哲 ①	中央	加藤 公利 ⑨	中津中央	兒島 靖正 ①
	神 日出男 ⑨		蔵前 達郎 ①		岩男裕二郎 ⑧		黄 梅雄 ③		中 秀正 ⑥
	後藤 明文 ⑥		首藤 誠 ①		太田 正美 ⑧		敷嶋 博和 ④		中山 泰志 ①
	後藤 憲志 ⑦		中野 信一 ①		桑野 和泉 ⑨		新名 一大 ①		二反田新一 ②
	佐藤 秀男 ⑤		中村 有志 ①		中谷 太郎 ③		橋本 康弘 ③		広畑 正光 ②
	高橋 正明 ③		石坂 太郎 ③		日野 信介 ①		宮本 隆之 ⑥		三好 順一 ⑤
	友永 亨 ③		今橋 一男 ③		安部幸一路 ①		大石 章広 ②		若山 広利 ⑦
山の手	安東 信幸 ①	莊園	岩田 啓則 ①	南大分	安東 哲也 ⑧	東大分	土屋 一彦 ⑥	中津北	大江康治郎 ⑤
	大野 能且 ②		小城 崇宣 ①		井上 隆次 ③		成良 宏典 ④		大倉莊三郎 ⑦
	小野平八郎 ③		岩瀬 智昭 ②		森 正行 ⑤		平尾 隆一 ⑥		梶原 健 ①
	小俣 勝廣 ⑤		上月敬一郎 ④		矢野 雅則 ⑩		八坂 秀史 ③		川原田和廣 ①
	白井 功星 ①		河野 純一 ③		梶原 政信 ①		高城	大幡	狩生 孝治 ⑦
本店	阿佐 幸治 ①	鉄輪	千壽 智明 ②		佐藤 成己 ⑤		川野 大成 ①		木戸 利夫 ③
	麻生 雅憲 ③		長野 勝行 ②		中嶋 恵美 ①		工藤 浩史 ①		渡辺 賢一 ⑦
	安部 一郎 ⑥		安東 信男 ⑥	向原	川崎 徳則 ③	大分	小手川秀則 ②		衆野 剛喜 ③
	伊藤 博太 ①		櫻井 博之 ⑤		佐藤 孝 ⑤		實山香代子 ①		坪根 誠 ③
	河内 聖藏 ⑥		高橋 譲 ④		白井 俊男 ①		西森 幸一 ⑨		古園 智大 ①
	川本 尚哉 ⑥		堀下 正夫 ⑦		安東 正二 ③		藤澤 常夫 ⑥		増矢 大介 ②
	小出 英治 ⑦	亀川	阿部 修司 ①		太田 光則 ⑨		山内 清 ③		大山 龍秀 ⑦
	菅 健一 ⑥		神田 剛 ⑨		大塚 茂 ①		小野 秀幸 ⑪	如水	末松 竹信 ⑦
	首藤哲二郎 ③		中島 正一 ④		大野 保洋 ①		田中 弘史 ④		山崎 弘彥 ⑦
	寺田 真美 ③		安部 賢一 ⑧		小澤 達也 ⑤		溝辺 茂記 ②		渡邊 誠二 ⑦
	林 太一郎 ①	鶴見張・所扇山	神徳 博宗 ⑥		児玉 憲明 ④		森鶴町崎	高田	原田 英一 ④
	三浦 公英 ④		田中 俊一 ④		指原 清之 ⑥		倉員 誠二 ⑨		高橋 宜宏 ⑦
	山口 巧 ⑥		西 謙二 ⑧		佐藤 俊孝 ③		鈴木 健一 ③		谷川 実 ①
	衛藤富喜雄 ⑦		日高 清志 ②		東本 夏子 ①		中島 秀一 ①		原田 敬史 ②
石垣	大倉 一泰 ③	日出	上野 公則 ②		長野 壽之 ⑤		小野眞一郎 ①		藤林 錠司 ③
	岡崎 徹 ⑪		河野 房雄 ②		原田 和明 ⑦		姫野總一郎 ⑥		三木 幸雄 ⑦
	梶原 哲雄 ⑩		鈴木 明久 ⑪		丸田 修 ②				

*氏名の後の数字は就任回数です。なお、1992年旧別府信用金庫と旧府内信用金庫合併後の就任回数で表示しています。

(2023年5月末現在)以上141名

役員・組織図

役員

(2023年6月末現在)

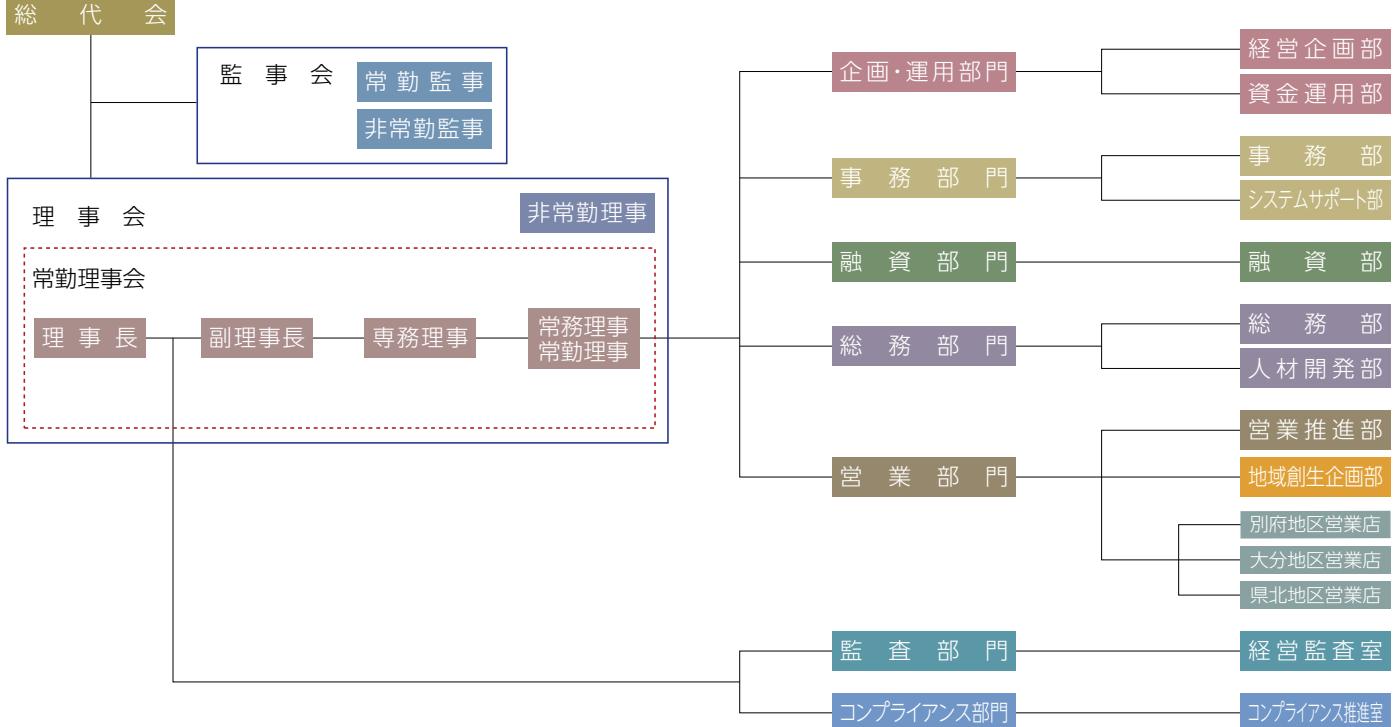


※1：理事 德田靖之、立花旦子、高橋欽哉、樽谷壽生、植山茂宏は信用金庫業界の「総代会の機能向上策等に関する業界申し合せ」に基づく職員外理事です。

※2：監事 中尾薰は、信用金庫法第32条第5項に定める員外監事です。

組織図

(2023年6月末現在)



会計監査人の氏名又は名称 (2023年6月末現在)

貞閑公認会計士共同事務所 公認会計士 川野 嘉久 氏、公認会計士 染矢 広志 氏

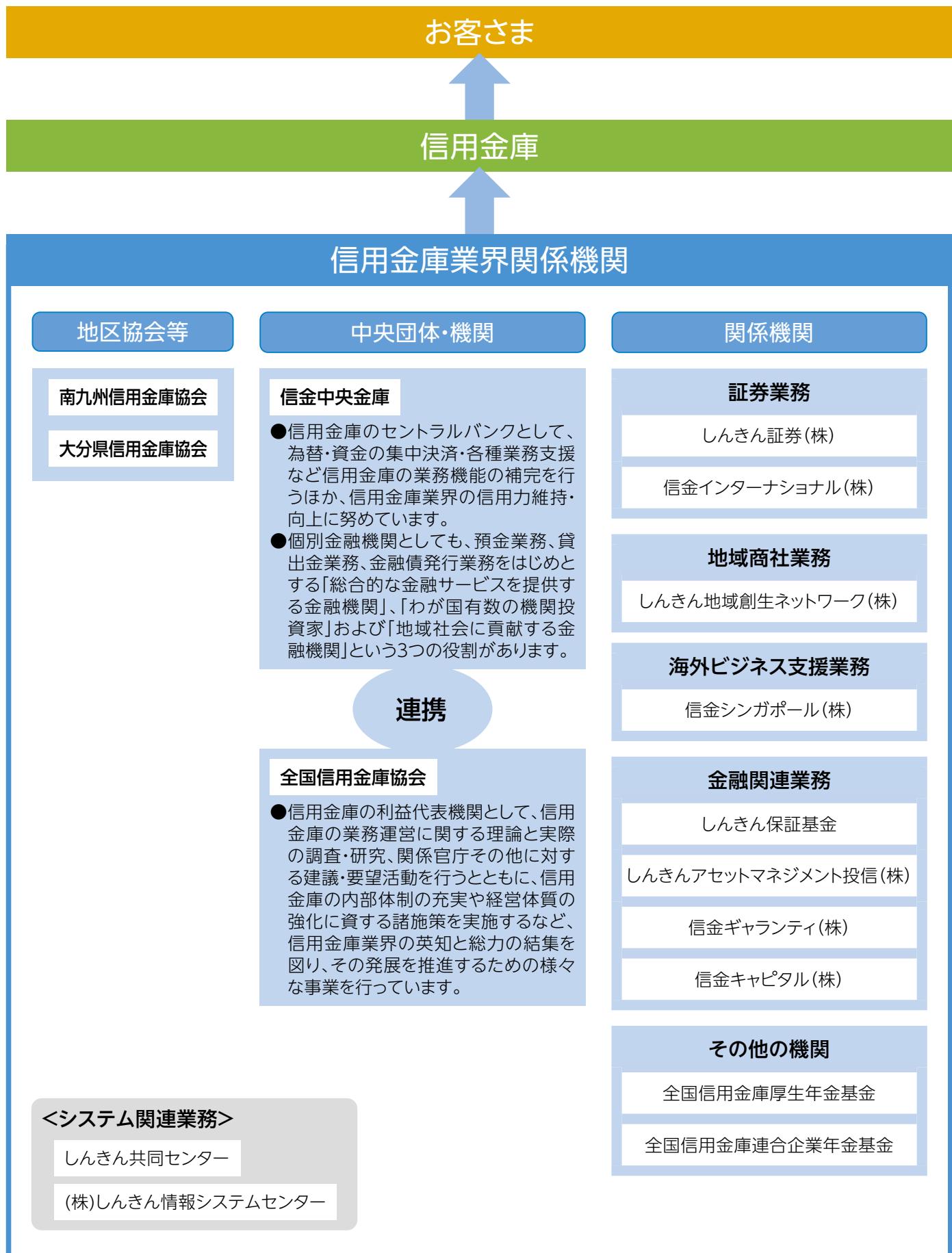
営業店等所属長

2023年6月末現在

常勤理事 別府営業統括 本店営業部長 手島 賢三	南支店長 河崎 悅子	鉄輪支店長 酒井 嘉和	亀川支店長 菅田 仁士	山の手支店長 鹿子木 敏明	湯布院支店長 堀井 壮太
大分地区統括 大分支店長 兼府内中央支店長 鳥羽 高広	上人支店長 松岡 辰彦	南大分支店長 須田 真統	莊園支店長 岩本 博史	石垣支店長 田中 真明	鶴見支店長 細川 浩一
扇山出張所長 柳野 加穂余	東大分支店長 井上 浩一	日出支店長 永井 雅充	高城支店長 石田 正美	大在支店長 兼坂ノ市支店長 谷 誠	向原支店長 小野 琢司
中央市場出張所長 美野 咲子	滝尾支店長 其田 憲治	鶴崎森町支店長 首藤 俊祐	県北地区統括 中津中央支店長 石津 丈司	中津北支店長 川田 貴之	鶴居支店長 兼大幡支店長 藤野 泰宏
宇佐中央支店長 兼高田支店長 仲 真吾	如水支店長 平井 史明	みらいハートプラザ別府 プラザ長 得松 由香	みらいハートプラザ大分 プラザ長 沖本 由美		

業界の総合力の発揮

信用金庫は、業界ネットワークを最大限に活用して、お客さまに対してきめ細かく魅力あるサービスを提供しています。これからも業界の総合力を結集し、お客さまにより一層ご満足いただけるサービスを提供できるよう取り組んでまいります。



信用金庫業界関係機関の紹介

(株)しんきん情報システムセンター

信用金庫業界の機械化を推進するための中核機関。信用金庫業界のネットワークシステムの開発・運用、他業態システム等と接続したネットワークシステムの整備および信用金庫業務に係る各種業務処理システムの開発・運用を行っています。

しんきん共同センター

信用金庫に高度なシステムを廉価で提供したり、事務や経営の効率を図ることを目的とする機関。加盟信用金庫の意見等を取りまとめ、システム開発およびシステムサポートを行っています。現在、全国の信用金庫の約9割が加盟しています。

しんきん証券(株)

信用金庫等の資金運用ニーズや、信用金庫取引先の資金調達ニーズ等に資することを目的とする会社。有価証券の売買業務、仲介業務、引受業務等の証券業務を行っています。

信金インターナショナル(株)

信用金庫等の資金運用ニーズに資するためにロンドンに設立された会社。ユーロ市場における債券の売買業務、仲介業務、引受業務等の証券業務を行っています。

しんきん地域創生ネットワーク(株)

地域の課題解決に特化した専門会社。全国版の地域商社事業、地方自治体向け地域創生コンサルティング事業を行っています。

信金シンガポール(株)

信用金庫取引先の海外展開を支援すること等を目的とする会社。信用金庫取引先の海外子会社向けの貸出、海外進出や販路開拓など信用金庫取引先の海外ビジネスに関する支援等を行っています。

信金中央金庫について

●信金中央金庫の役割

信金中央金庫は全国の信用金庫を会員とする協同組織形態の金融機関で、信用金庫の中央金融機関として1950年に設立され、2000年には優先出資を東京証券取引所に上場しています。

また、「信用金庫業界の中央金融機関としての役割」「個別金融機関としての役割」を併せ持つ金融機関として、会員信用金庫と一体となって業務を行っています。

●信金中央金庫の経営力強化制度

信用金庫業界では、個々の信用金庫の健全性を確保し、業界全体の信用力の維持・向上を図るために、2001年4月に「信用金庫経営力強化制度」を創設しました。

しんきん保証基金

個人の消費・住宅資金等の借入れを容易にすることを目的とする保証機関。個人ローン・カードローン等の保証業務を行っています。

しんきんアセットマネジメント投信(株)

信用金庫等の資金運用ニーズや信用金庫における投資信託の窓口販売業務に資することを目的とする会社。投資顧問業務や投資信託業務を行っています。

信金ギャランティ(株)

信用金庫の個人向け無担保ローン拡大の支援等に資することを目的とする会社。信用金庫が取り扱う個人向け無担保ローンの保証業務を行っています。

信金キャピタル(株)

中小企業の育成に資すること等を目的とする会社。株式公開を目指す企業が発行する株式等の引受けを行う投資業務およびM&A仲介業務を行っています。

全国信用金庫厚生年金基金

厚生年金保険法に基づき設立された基金。信用金庫役職員の退職後の生活安定に資するわが国最大規模の私的年金基金です。

全国信用金庫連合企業年金基金

確定給付企業年金法に基づき設立された基金。税制適格退職年金制度の廃止に伴い、その移行先の受け皿として設立された連合型の企業年金基金です。



信用金庫のセントラルバンク 信金中金

●総資産	46兆円
●連結自己資本比率(国内基準)	22.09%
●不良債権比率(リスク管理債権/貸出金)	0.23%
●外部格付 Moody's	A1
S&P	A
R&I	A+
JCR	AA

(上記計数は2023年3月末現在)

まち 地域づくり活動について

みらいしんきんのSDGs宣言

当金庫は、地域の人々が相互扶助の精神で設立した協同組織金融機関として、地域の発展に貢献し、地域の生活者の豊かな生活（くらし）づくりに奉仕することを使命として活動してまいりました。

今後も「この地域（まち）に根差し、未来（あす）を拓く」の経営理念のもと、SDGsの目指す「持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現」に向け、地域の社会・経済・環境等の諸課題の解決に主体的に取り組み、持続可能な地域社会の実現に貢献していくことを宣言いたします。

令和2年9月1日
大分みらい信用金庫
理事長 森田展弘

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGs(Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標)とは、世界が抱える問題を解決し、持続可能な社会をつくるため、2030年に向けて世界各国が合意した17の目標と169のターゲットです。

みらいハートプラザ別府 移転オープン

みらいハートプラザ別府は2022年12月19日、新本店ビル1階に移転オープンしました。

みらいハートプラザ別府・大分は豊かな暮らしをサポートするご相談窓口です。専門スタッフが個室ブースでお客さまと向き合い、まごころ込めたご提案をさせていただきます。

相続相談

ご家族の相続手続きや相続のための準備など、お客様の課題に応じたご説明を行います。

終活相談

暮らし・住まい・お金のことなど、今からできる終活をサポートいたします。

年金相談

年金の調査、新規受給、変更手続きなど、すべておまかせください。

資産運用

大切な資産を「まもる・のこす」ための最適な方法をご提案いたします。

個人ローン

フリーローン、マイカーローン、住宅ローンなど、各種商品を取り揃えています。



▲2022年12月19日に移転オープンしたみらいハートプラザ別府



▲ハートプラザ大分 店内ギャラリーで開催した書道展の様子

市立図書館や大学との連携

ともに100周年を迎えた別府市立図書館と企画展を行いました。



▲大別府展パートIIの様子

2022年にともに100周年を迎えた別府市立図書館と、相互に所蔵資料を展示する企画展「大別府展」を開催しました。

2022年10月には別府市立図書館で、2023年3月にはグランドオープンした当金庫本店ロビーおよび本部エントランスにて、ともに歴史を重ねた「別府市」に関する資料やコレクションを展示し、来場客の皆さんに100年の時を感じていただきました。



▲大別府展パートIの様子

スポーツ・子ども事業支援

地域のスポーツ振興と子どもたちの健やかな成長を願い、主催・協賛・後援などさまざまな形で各種スポーツ大会や将棋大会など子どもたちの挑戦を応援しています。



◀豊の国けまりフェスティバル
サッカー大会



▲中津市少年野球大会



◀みらいしんきん杯わくわく
ドリーム将棋大会2022

学生たちと観光PRに取り組みました。



▲第2回フォトコンテスト作品を展示了工事壁

2022年7月11日(月)～2022年8月11日(木)まで、アフターコロナの地域の観光活性化を目的として、別府大学国際経営学部小野ゼミプロジェクトチームに企画協力を依頼し、当金庫主催のInstagramフォトコンテストを開催しました。

約600点の応募作品の中から選ばれた優秀作品は、建設中であった本店の工事壁に展示しました。

また、フォトコンテストで紹介された投稿者が「自慢」したい大分県の「場所」から学生たちが紹介したいエリアを選び動画を作成。東京や別府で開催されたイベントでも入賞作品の写真とともにPRをしました。

第1回、第2回のフォトコンテスト受賞作品と学生の選んだ写真と動画のQRコードを載せた当金庫オリジナルカレンダーは、第42回信用金庫PRコンクールのカレンダー部門優秀賞を受賞するなど注目を集めました。

子どもたちが住みやすい地域を目指して

子どもたちが住みやすいまちづくりを目指して、6月15日の信用金庫の日に大分県下3金庫合同で花と野菜の種を配布しています。また、2023年1月にはお子さまを対象に全店でみらっこおこづかい帳の無料配布を行い、おこづかい帳のつけ方講座を実施しました。



▲おこづかい帳のつけ方講座の様子



▲配布したおこづかい帳

しんきんSDGs私募債 「ちいきのミライ」の引受けに伴う寄附を応援



▲由布市立庄内中学校さまへの贈呈式の様子



▲大分県立日出総合高等学校さまへの贈呈式の様子

しんきんSDGs私募債「ちいきのミライ」は、私募債発行体が、国内の法人・団体等に、SDGs達成に向けた用途への寄附を通じて、持続的な社会の実現に向けた取り組みを行うことができる私募債です。

発行体が私募債を発行するにあたり、当金庫および信金中央金庫が受領する手数料を各々発行金額の0.1%相当額以上を割り引くことで、発行額の0.2%以上の財源を捻出し、発行体が選定する国内の法人、団体等へ寄附を行います。

2022年度は、2022年8月25日付、2023年3月31日付でしんきんSDGs私募債「ちいきのミライ」の引き受けを行いました。

同私募債の引受けに伴い、株式会社九大技建さまより由布市立庄内中学校さまへSDGsに関する書籍45冊、豊洋精工株式会社さまより大分県立日出総合高等学校さまへ子ども教育に使用する書籍58冊を寄贈することができました。

子育て応援パスポート



大分県と締結した地方創生包括連携協定に基づき、2022年7月、大分県が推進する「おおいた子育て応援パスポート」に登録いたしました。本事業は、大分県下3信用金庫(大分信用金庫・大分みらい信用金庫・日田信用金庫)全体で取り組んでいる事業です。パスポートを持参された方に風船などのプレゼントをお渡ししています。

第6回 おおいたスタートアップウォーマンアワード



▲ファイナリストの皆さま

当金庫は、「大分県女性起業家創出促進事業」へ参画しております。本事業では、女性ならではの多彩なビジネスモデルの掘り起こしと、活躍や成長を支援するため、ビジネスプランコンテストを実施しております。当金庫は、センター企業として、8名のファイナリストの皆さんへセンター賞を送り、ビジネスプランの発展をサポートしております。

みらいお宝発掘プロジェクト



▲ビジネスプラン発表会の様子

本プロジェクトは、日本財団「わがまち基金」を活用した地域創生支援事業で、お取引先の「強み=お宝」に着目し、新たなビジネスアイデアを発掘し、磨き上げ、実践していくプロジェクトです。

2021年度よりスタートし、2022年度には、10社の企業がチャレンジしました。

店舗・ATMネットワーク

営業店

2023年6月末現在

店番	店名	ATM稼働				取扱い業務		所在地	電話番号
		平日	土・日・祝	視覚障がい者対応	生体認証・IC対応	フラット35	外国為替取次		
2	本店営業部	●	●	●	生体	●	●	〒874-8639 別府市駅前本町1番31号	0977-25-7710
3	南支店	●	●	●	生体	●	●	〒874-0942 別府市千代町11番15号	0977-22-3311
5	鉄輪支店	●	●	●	生体	●	●	〒874-0045 別府市御幸2組	0977-66-1251
6	亀川支店	●	●	●	生体	●	●	〒874-0014 別府市亀川浜田町2番3号	0977-66-0161
7	山の手支店	●	●	●	生体	●	●	〒874-0902 別府市青山町1番1号	0977-22-0231
9	湯布院支店	●	●	●	生体	●	●	〒879-5102 由布市湯布院町川上3048番地の4	0977-84-2164
10	大分支店	●	●	●	生体	●	●	〒870-0021 大分市府内町1丁目2番8号	097-534-0131
26	府内中央支店	●	●	●	生体	●	●	〒874-0033 別府市上人南16組	0977-66-2261
11	上人支店	●	●	●	生体	●	●	〒870-0887 大分市二又町1丁目4番22号	097-544-1181
12	南大分支店	●	●	●	IC	●	●	〒874-0836 別府市東莊園3丁目1組	0977-24-7131
13	莊園支店	●	●	●	生体	●	●	〒874-0910 別府市石垣西7丁目1番1号	0977-25-0511
14	石垣支店	●	●	●	生体	●	●	〒874-0848 別府市大畠1組2	0977-22-1131
15	鶴見支店	●	●	●	IC	●	●	〒874-0833 別府市鶴見5組2	0977-22-1135
19	扇山出張所	●	●	●	IC		●	〒870-0919 大分市新栄町1番3号	097-556-6311
20	東大分支店	●	●	●	IC	●	●	〒879-1506 速見郡日出町3189番地1	0977-72-1511
22	日出支店	●	●	●	生体	●	●	〒870-0157 大分市高城本町3番3号	097-558-1644
27	高城支店	●	●	●	生体	●	●	〒870-0268 大分市政所1丁目1番11号	097-592-2171
29	大在支店	●	●	●	生体	●	●	〒879-5506 由布市挾間町挾間572番地1	097-583-1311
42	向原支店	●	●	●	生体	●	●	〒870-0018 大分市豊海4丁目1番1号	097-533-3222
43	中央市場出張所	●		●	IC		●	〒870-0945 大分市大字津守383番地の6	097-568-6111
45	滝尾支店	●	●	●	IC	●	●	〒870-0127 大分市大字森町499番地の1	097-522-1181
46	鶴崎森町支店	●	●	●	生体	●	●	〒871-0058 中津市豊田町2丁目453番地の1	0979-23-1111
50	中津中央支店	●	●	●	生体	●	●	〒871-0067 中津市仲間町935番地の1	0979-22-3681
53	中津北支店	●		●	IC	●	●	〒871-0151 中津市大字大悟法705番地の1	0979-32-4051
54	大幡支店	●	●	●	生体	●	●	〒871-0025 中津市大字万田字寺屋敷409番地の1	0979-22-1431
56	鶴居支店	●	●	●	生体	●	●	〒879-0453 宇佐市大字上田字前畑1013番地の1	0978-32-2123
57	宇佐中央支店	●	●	●	生体	●	●	〒871-0011 中津市大字下池永字新貝918番地の1	0979-25-1818
55	高田支店	●	●	●	生体	●	●	〒870-0307 大分市坂ノ市中央4丁目2番3号	097-592-3511
58	如水支店	●	●	●	生体	●	●	〒874-8639 別府市駅前本町1番31号	0120-365-166
62	坂ノ市支店	●	●	●	生体	●	●	〒870-0046 大分市荷場町3番1号	0120-365-353
みらいハートプラザ別府									
みらいハートプラザ大分									

※視覚障がい者対応ATMとは、ATMに設置されているプッシュボタン付きの受話器(ハンドセット)から、音声で操作手順をご案内するATMです。

※ATM稼働欄の「生体」は生体認証およびICカード対応、[IC]はICカード対応ATMが設置されている店舗です。ステッカーが貼付されているATMでご利用いただけます。

店外ATMコーナー

2023年6月末現在

別府市	日出町	中津市
● IC えきマチ1丁目	● IC マルショク豊岡店	● IC 中津市役所
● IC ゆめタウン別府	● マルショク川崎店 ※	● IC ゆめタウン中津
● IC 浜脇出張所		● イオン三光ショッピングセンター ※
● IC マルショク流川通り店 ※		● IC 川島整形外科病院
● IC マルショクやまなみ店		● IC 今津出張所
● IC マルショク関の江店		● 吉富町
● IC 亀川中央町		● IC 吉富出張所
● IC 立命館アジア太平洋大学 ※		● 豊後高田市
● IC 別府医療センター ※		● 虫トキハインダストリー豊後高田店
● IC トキハインダストリー鶴見園店		
● IC 春木出張所	● IC 花の木通り	● 土・日・祝日稼働
● 別府大学 ※	● IC イオン挿間店 ※	● 平日のみ稼働
● IC 別府市役所	● IC トキハインダストリー宇佐四日市店	● ICカード対応ATM
● IC マルショク餅ヶ浜店		● 生体認証およびICカード対応
● IC 境川出張所		

※のコーナーは、個人出資会員の時間外手数料無料の対象外となりますのでご注意ください。

※のコーナーでの当金庫カードによる平日時間外・土日祝日の入金は、有料となりますのでご注意ください。

ATM利用のご案内

●時間外手数料一覧

	8:45	18:00	
平 日	110円	無 料	110円
土 曜	9:00	14:00	無 料 110円
日 祝	110円		

●当金庫カード(通帳)での入金はいつでも無料です。

●他金融機関・ゆうちょ銀行カードは、平日8:00～21:00・土日祝日9:00～20:00の利用となり、「左記手数料+110円」となります。

※利用明細票に表示される手数料が、実際にご負担いただく手数料と異なる場合がございます。詳しくは、お取引金融機関にお問合せください。

●当金庫出資会員はATM時間外手数料は無料です。
(法人キャッシュカードは対象外となります)

①ATMコーナーにより稼働時間が異なります。

②当金庫カードを他金融機関のATMコーナーでご利用の場合は、金融機関や時間帯によって手数料が異なります。

③お振込には振込手数料が必要です。



しんきんのキャッシュカードなら 全国のしんきんATMで入出金手数料が無料です

●無料でご利用になれる時間帯 平日…8:45～18:00のお預入れ・お引出し
土曜…9:00～14:00のお引出し(注)

・本サービスをご利用いただけない信用金庫ATMが一部ございます

・上記以外の時間帯および日曜・祝日のATMご利用には所定の手数料が必要です

(注)土曜日のお引出しにつきましては、一部有料となる信用金庫ATMがございます

当金庫のキャッシュカードはセブン銀行・イオン銀行・ローソン銀行の各ATMでもご利用いただけます



ご利用できる時間

- 月曜～金曜 0:00～24:00
- 土曜 0:00～22:00
- 日曜 8:00～24:00

●上記時間帯は最長利用可能時間帯です。
ATMごとに営業時間が異なります。

●ご利用可能なお取引

キャッシュカードによる
お引出し・お預入れ・残高照会
※法人キャッシュカードはご利用できません。
※通帳のご利用はできません。

●お引出し・お預入れ手数料

一律110円(消費税込み)
※残高照会は手数料無料です。
※出資会員の皆さまも手数料が必要です。



●ご利用可能なお取引

キャッシュカードによる
お引出し・お預入れ・残高照会
※法人キャッシュカードはご利用できません。
※通帳のご利用はできません。

●ご利用時間および手数料

お引出し・お預入れ

	8:00	8:45	18:00	21:00
●平日	220円	110円	220円	
●土曜	220円	110円	220円	21:00
●日曜・祝日		220円		21:00

(消費税含む)

※上記時間帯は最長利用可能時間帯です。ATMごとに営業時間が異なります。
※残高照会は手数料無料です。
※お振込みの際は、別途イオン銀行が定める振込手数料がかかります。
※カードローン・総合口座貸越の貸付額・返済額が1万円以下の場合、ご利用手数料は110円となります。利用明細票に表示される手数料と実際にご負担いただいた手数料が相違する場合がございますが、通帳には実際にご負担いただいた手数料が正しく表示されますのでご了承ください。
※出資会員の皆さまも手数料が必要です。



ご利用できる時間

- 月曜～金曜 0:00～24:00
- 土曜 0:00～22:00
- 日曜 8:00～24:00

●ご利用可能なお取引

キャッシュカードによる
お引出し・お預入れ・残高照会
※法人キャッシュカードもご利用いただけます。
※通帳のご利用はできません。

●お引出し・お預入れ手数料

一律110円(消費税込み)
※残高照会は手数料無料です。
※出資会員の皆さまも手数料が必要です。

みらいしんきんの歴史

1922年4月12日、私たちは、大分県で最初の「信用金庫」として産声をあげました。
以来101年、みらいしんきんの歴史は、常に地域と共に歩んでまいりました。
地域に対する想いは、未来永劫、変わることはありません。
これからも、いつまでも…。

みらいしんきんのあゆみ

1922(大正11)年 4月	有限責任別府信用組合設立	2015(平成27)年 11月	大分県中小企業家同友会と業務提携に関する覚書を締結
1926(15)年 9月	南支店(旧本店)開設	11月	別府市、宇佐市と「地方創生に関する包括連携協定」を締結
1951(昭和26)年10月	有限責任別府信用組合から別府信用金庫へ改組	12月	大分市と「地方創生に関する包括連携協定」を締結
1964(39)年 2月	別府信用金庫新本店開設(旧本店は「南支店」に)	2016(28)年 1月	中津市と「地方創生に関する包括連携協定」を締結
1976(51)年11月	別信同友会発足	2月	豊後高田市、由布市、日出町と「地方創生に関する包括連携協定」を締結
1982(57)年12月	別府信用金庫、預金量1,000億円達成	3月	学校法人別府大学と連携に関する協定を締結
1992(平成 4)年 6月	別府、府内両金庫合併、新生「別府信用金庫」誕生	3月	別府竹製品協同組合と業務提携に関する覚書を締結
1994(6)年 3月	第百みらい信金ビル竣工・みらいしん さん研修所「遊心齋」竣工	2017(29)年 7月	大分労働局と包括連携に関する協定を締結
	5月 金庫名を「別府信用金庫」から「大分み らい信用金庫」に改名	2018(30)年 4月	大分県事業引継ぎ支援センターと業 務連携・協力に関する覚書を締結
1996(8)年10月	「第33回ヤングコアフェスタ in Beppu KYUSYU」開催	12月	大分県と「大分県内におけるキャッシュ レス決済の推進に関する協定」を締結
1997(9)年 8月	「府内戦紙」初出場	2019(令和 1)年 6月	「くるみん認定」を取得
1998(10)年 6月	第1回信用金庫社会貢献賞「Face to Face賞」受賞	2020(2)年 3月	おおいた女性活躍推進事業者表彰を 受賞
2002(14)年 3月	中津信用金庫・佐賀関信用金庫の事 業を譲り受け	9月	「みらいしんきんSDGs宣言」を制定
2004(16)年 3月	大分県警より「こども連絡所・連絡車」 指定	10月	「おおいた働き方改革」推進優良企業 を受賞
2005(17)年 6月	国立大学法人大分大学と連携に関す る協定を締結	2021(3)年11月	大分県と「地方創生に係る包括連携協 定書」を締結
2007(19)年11月	創立80周年記念事業で「油屋熊ハブロ ンズ像」を寄贈(JR別府駅前広場に設 置)	2022(4)年 1月	公益財団法人産業雇用安定センター と当金庫との「中小企業支援に関する 連携協定」を締結
2008(20)年 7月	事務センターを新築移転	4月	創立100周年
2010(22)年 6月	新イメージキャラクター「みらっこ」誕生	9月	「しんきんイノベーションプロジェクト in 別府」の成果発表会を開催
	12月 大地みらい信用金庫との交流開始	2023(5)年 3月	新本店ビル グランドオープン
2012(24)年 4月	創立90周年		
	8月 「府内戦紙」一等賞受賞		
2013(25)年 3月	認知症サポーター全店配置		
	10月 福岡ひびき信用金庫、西中国信用金 庫の3信用金庫間で大規模災害発生 時の相互応援に関する覚書を締結		
	11月 日本政策金融公庫と創業支援に関す る業務提携を締結		
2014(26)年 3月	大分県中小企業診断士協会と「経営 改善センター事業」に関する業務提携 を締結		
	5月 大分県信用金庫協会、大分県内3信用 金庫、商工組合中央金庫大分支店と の間で業務協力に関する覚書を締結		



創業当時の本店



〒874-8639 大分県別府市駅前本町1番31号
TEL 0977-22-1181(代表)

インターネットホームページ URL
<https://www.oitamirai.co.jp/>
E-mailアドレス
mirai@oitamirai.co.jp



「資料編」のご案内
信用金庫法第89条
に基づいて作成した
「資料編」は、当金
庫ホームページにて
公開しております。

